印刷関連見本市のご報告。世界一の規模を誇るドイツ・

游文通信

2016年7月発行

62

DRUPA 2016 ご報告



「DRUPA」とは、ドイツ・デュッセルドルフ市で開かれる世界一の規模を誇る印刷関連見本市で、4年に一度、オリンピックイヤーに開催されます。今年は5月31日から6月10日にかけて開かれ、来場者数は約26万人でした。ここのところ来場者が減り続けており、2008年が約39万人、2012年が31.5万人と、8年前からするとちょうど2/3となり、印刷業界が世界的に見ても縮小していると言えます。しかしながら、各機械メーカーが最新技術を披露する場としての存在感は衰えておらず、製品化がまだの「技術展示」もあり、まさしく「未来を見る」ことができます。残念ながらスケジュールの関係で弊社スタッフの見学はかないませんでしたが、実際に視察された外部ブレーンの皆様からの報告を受け、弊社なりのレポートをまとめたいと思います。

オフセット印刷機もそれなりのスペースを割いて展示されているものの、技術開発の余地が限られてきており、目新しさに欠ける印象があります。一方で、デジタル印刷機の展示スペースは拡大し続けています。特に今回は後加工メーカーとのコラボレーションで、ワンパスでシームレスに製本や各種加工ができるとい



う「複合設備」「ソリューション」の展示が盛んでした。つまり、「製本機へはオフラインで運んでね」というのではなく、スタートボタンを押したら製本して仕上がった状態でできあがってくるようにシステム化された展示がいくつかありました(写真:Xerox、Canonでの展示)。FUJIFILMに至っては、書籍を個々人への発送に使うピッ



キングマシンまで展示しており(写真)、印刷製本のみならず物流業者が発送するところまでソリューション化していました。さすがはインダストリー 4.0 を国策として掲げるドイツの展示会、近未来の製造業のなりえる姿を具現化してみせてくれます。あらゆる製造業・物流業は無人化が加速していきますね。

この FUJIFILM 社でおもしろい展示が「水性ピグメント・ラテックスインキ」でして、不織布や布にインクジェットで印刷し、布生地を作るというものでした。実際に同社のブースの接客員は



この方法で作られた羽織を着ていました(写真)。これは印刷業界とアパレル業界に変革をもたらす可能性があると感じております。

話題性があるのは Landa 社です。同社のデジタル印刷機はまだ未発売であるものの、「オフセット並みの印刷品質」「オフセット並みのスピード」「どんな紙にも印刷」が特徴です。 4 年前の技術展示から印刷品質は格段に向上しており、会場では実際に印刷して見せていました(写真)。同社と協業したオフセット印刷機メーカー

KOMORIも、KOMORIブランドで デジタル印刷機を展示しており、 2017年度中の発売開始を目論んでい るようです。本当に大化けするか、 成り行きが注目されます。



他方、昨今はやりの汎用ロボットの展示は少なく、印刷製本にま つわる手作業は自動化にまだまだ課題が多いと感じました。

最後に残念なお話。開催直前にデュッセルドルフ市でテロ未遂事件があったり、難民の流入による治安悪化が心配されていました。ある報告者の方は実際にスリの被害に遭われ、大変な災難だったそうです。現金とクレジットカードがない状態で異国の地に放り出されるのは何とも不安なものでしょう。会場でも出展社のノートパソコンや貴重品が盗まれるという事件が頻発しており、これまでにないような状況だった模様。

4年後、再びDRUPAが開催されます。3年後という話もありましたが、結局4年で落ち着きました。そのころの技術動向ならびに業界、そしてヨーロッパの混乱はどうなっているのでしょうか。

(insatsu 男子)



[大阪本社] 〒532-0012 大阪市淀川区木川東4丁目17-31

ている TEL: 06-6304-9325 (代) FAX: 06-6304-4995

[東京営業所] 〒113-0033

〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目29-10

TEL: 03-5802-3815 FAX: 03-5802-3816 http://www.yubun.co.jp/ E-mail info@yubun.co.jp

2016年夏 社員総会レポート

弊社では上半期(1~6月)、下半期(7~12月)の 総まとめの報告会を、年2回社員全員参加で行っていま す。2016年上半期は、初の試みとして、共済会と合同で 懇親に特化した「サマーパーティー」と銘打ち、7月9 日(土)にインターコンチネンタルホテル大阪にて行い ました。大阪本社・東京営業所のスタッフ全員および退 職者ネットワークの方々あわせて50名、元気な笑顔で全 員集合できました。

まずは社長の挨拶にはじまり、上半期のまとめと本日 の趣旨をお話頂き、続いて、永年勤続の表彰が行われま した。遊文舎を支える確かな技術は、こうした永年勤続 者の方々の努力の賜物です。先輩方、これからもよろし くお願いいたします!

そして、営業部の和田の発声により乾杯! 各々グラ スを片手に、普段の部署に関係なく、上半期の互いの働 きを労いました。

軽い歓談のあと、昇進者の発表が行われました。これ までは基本的に縦割りの運営を行ってまいりましたが、 今後は、より現場での活発な意見交換や、情報共有をし、

横のつながりを強化するため、チーフ会とリーダー会の 発足が発表されました。

さらに、今回の目玉企画は、なんといってもアコース ティックライブ! スペシャルゲストとして紹介された のは、営業部の大江と近藤によるスペシャルユニット。 近藤の温かみのあるベース&クラリネットと、大江のさ わやかで透き通ったキュートな歌声の織りなす fantastic harmony、読者の皆様にお聞かせできないのがとても残 念です……! そんな素敵な演奏を聴きながら、美味し い料理とお酒に舌鼓を打つという、とても贅沢な時間で した。オリジナル曲を含む、全5曲そして、熱烈なアン コールに応えての、Country Rordでは、会場内も手拍 子大盛り上がりで、上半期社員総会は幕を閉じました。

(よしこ)

アコースティックライブ SETLIST

- 1. You Can't Hurry Love(Diana Rossカバー)
- 2. Sweet Kitchin (★)
- 3. 誰かの彼女になりくさっても(カバー、元歌不明)
- 5. Perfect (FairGroundAttractionカバー)

EN. Country Road





● 編 集 後 記 ●

久しぶりに遊文通信の編集に参加しました大江です。やっと梅雨明け、皆さま夏のご予定はいかがでしょうか?私は先日高知へ行 きました。昔ながらのゆらゆら大きな吊り橋を渡り、清流で魚と格闘し、鮎の塩焼きにかぶりつき、つなぎにヘルメットで鍾乳洞 を探検し、鰹を食べウツボを食べマンボウも食べ……高知最高です。リフレッシュして仕事も頑張るぞ!

